

定期巡回・随時対応サービス 自己評価・外部評価 評価表 2021年

あすならホーム西の京

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
			実施状況					
			できて いる	る ほ ぼ ど で て い る	こ と が 多 い な い	な 全 く で て い ない		
<b>I 構造評価 (Structure) 【適切な事業運営】</b>								
<b>(1) 理念の明確化</b>								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	7	6	1		10の基本ケアに基づいてケアを行っている。10の基本ケアに基づき巡回しています。10の基本ケアを基に理念の明確化されている。	今ではあすならの考えが全国に発信されてると聞きました。素敵な取り組みだと思います。
<b>(2) 適切な人材の育成</b>								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	3	10	1		10の基本ケアに基づいて内容を理解している。一部の職員をのぞき十分に認識している。	
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	5	8	1		研修の機会等は確保されている。	
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	3	9	2		配慮はしているが…。	
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	5	7	2		定期的にケア会議を行っている。ケアの間に話ができるようになった。ケア会議があったり、業務日誌で共有を測っている。	
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	4	9	1		利用者1人1人に対し、当日の変更などによって対応している。柔軟なサービスというが、時には不公平に感じる時がある。	
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	4	8	1		会議等で発信している。	
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	4	8	2		・オペレーターと家族様で連携をとっている。 ・記録等で共有している。	
<b>(5) 安全管理の徹底</b>								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	3	9	2		・発生時の手順等職員には伝えている。	

利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報 の適切な取り扱いと保護についての 具体的な工夫が講じられているとともに、 管理者や職員において共有されている	5	7	2		
<b>II 過程評価 (Process)</b>							
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供							
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成							
利用者等の24時間の暮らし全体に着 目した、介護・看護両面からのアセス メントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目し た、アセスメントが提案されている	5	7	2		
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが 適切に実施され、両者の共有、つぎ合わ せ等が行われている	7	4	3		・ナースが主任になら れたことで介護と看護 の情報共有と連携がス ムーズになった。
利用者の心身の機能の維持回復や 在宅生活の継続に軸足を置いた「未 来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を 置いた計画の作成が志向されている	4	8	2		
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎない よう、利用者の今後の変化を予測し、先 を見越した適切なリスク管理を実現する ための、「未来志向型」の計画の作成が 志向されている	2	9	3		未来志向というより現 状維持型になっている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し							
計画上のサービス提供日時に限定され ない、必要に応じた柔軟な定期巡 回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であ っても、利用者等の状況に変化が生じた場 合は、必要に応じて新たに定期巡回・随 時対応サービスの提供日時を設定する など、柔軟な運営に努めている	8	6			・何かあればオペレー ターに報告し、その都 度変更している。 ・こけた時にすぐ来て 下ったのは安心しまし た。 ・困った時にすぐに来て くれるのはありがたい が、いつも来てくれてい る人ではない。
継続したモニタリングを通じた利用者 等の状況変化の早期把握と、計画へ の適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタ リングによる、利用者等の状況変化の早期 把握と、計画への適宜反映が行われて いる	5	8	1		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供							
介護職と看護職の相互の専門性を生 かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を 実現するため、介護職、看護職のそれぞ れの専門性を活かした役割分担が行われ ている	5	8	1		
看護職によるサービス提供に関する 指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病 状の予後予測・心身の機能の維持回復 などの観点から、指導、助言が行われて いる	4	8	2		対等に向き合って貰 え、助言も頂けている。 よく説明してもらえるよ うになった。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣 旨及び特徴等についての十分な情報 提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本 サービスが「利用者等の在宅生活の継 続」と「心身の機能の維持回復」を実現 するためのサービスであり、訪問サービ スは、その趣旨に沿って行われるアセス メントに基づき提供されることについて、 十分な情報提供・説明が行われている	3	8	3		
利用者等との目標及び計画の共有 と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容につ いて、利用者等に十分な説明を行うな ど、共通の認識を得るための努力がされ ている	4	9	1		
	21	利用者の状況の変化や、それに伴う サービス提供の変化等について、家族等 への適時・適切な報告・相談等が行われ ている	5	8	1		
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、 ケアマネジャーとの適切な情報共有 及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者への サービス提供状況、心身の機能の変化、 周辺環境の変化等に係る情報が共有さ れ、サービスの提供日時等が共同で決 められている	3	8	3		少し不足？

	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	2	9	3			
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	4	8	2			
<b>(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献</b>								
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	5	8				
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	4	8	1		カンファレンスに参加している。	退院の時には大勢で来てくれました。(コロナ前)
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	3	8	1			
<b>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画</b>								
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>								
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	5	7	2			
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	6	5	3			
<b>(2) まちづくりへの参画</b>								
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	4	9	1			
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	6	8				
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項目)	1	10	1			
<b>III 結果評価 (Outcome)</b>								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	3	10	1			
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	7	7				毎日電話して頂き安心していただいています。